

旧核燃料試験研究施設の整備



三菱マテリアル総合研究所敷地内

三菱マテリアル株式会社

1. 整備計画の変更について

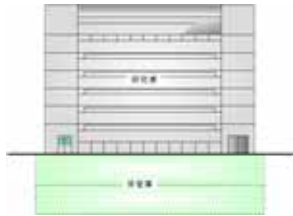
当研究所は、平成11年7月に「旧核燃料試験研究施設整備についての今後の計画」(以下「今後の計画」)を公表、その後、平成13年7月に計画の一部変更(以下「新整備計画」。下記注ご参照)を行い、本年9月完了を目途に整備を進めて参りましたが、予想以上の建屋床下や基礎部分などの汚染により、回収土壌量が増加し、このため新整備計画を変更、整備を平成17年3月まで延長せざるを得ないこととなりました(当初計画に比べ1年半延長)。

つきましては、整備完了までの間、皆様には、引き続きご迷惑をおかけし、大変申し訳なく存じますが、ご理解賜り、今後ともご協力下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

注)新整備計画においては、「2.計画変更の推移について」の対比表のとおり、「保管庫を平屋建てから、地下保管庫へ変更。放射性廃棄物の保管スペースは、200リットルドラム缶約8,000本から約12,000本へ増加。平成15年9月整備完了予定は変更なし。」と変更

2. 計画変更の推移について

計画変更点の対比表

項目	平成11年7月 「今後の計画」	平成13年7月 「新整備計画」	平成15年9月 「新整備計画の一部変更」	
主な整備内容	試験設備の解体・撤去 建屋の解体・撤去 土壌の回収	同左	同左	
完了時期	平成15年9月	同左	平成17年3月	
新 保 管 庫	建設場所	施設Pの跡地 平屋建て	新研究棟(地上7階建て) 地下1階、地下2階	同左
	概観図 (写真)			地下部分は完成済。地上部は階数、利用方法、建設時期について見直し中。 
	建設時期	着工：平成14年6月 完成：平成15年12月	着工：平成14年1月 完成：平成14年12月	着工：平成14年1月 完成：平成15年3月
	保管スペース	約8,000本 注1)	約18,000本 注1) 三菱材料：約12,000本 NDC：約6,000本	約5,280個 注2) 三菱材料：約4,080個 NDC：約1,200個
	収納対象	三菱材料のみ	三菱材料 + NDC	同左
一時保管庫の利用	施設F	施設F + 施設S	同左	
環境モニタリング	定期的に実施	同左	同左	

注1) 200リットルドラム缶のみを保管した場合の本数です。

注2) 収納効率の向上を図るため、大半を角型容器に変更しております。

3. 新保管庫の保管量の変更（増加）

		地下1階	地下2階	合計
平成13年7月 「新整備計画」	三菱マテリアル	約2,400個 (約9,600本)	約600個 (約2,400本)	約3,000個 (約12,000本)
	NDC	-	約1,560個	約1,560個
今次変更	三菱マテリアル	約2,810個 (約23,080本)	約1,270個 (約9,530本)	約4,080個 (約32,610本)
	NDC	-	1,180個	1,180個

注1) 青数字は角型容器のみを保管した場合の個数です。

注2) 緑数字は200リットルドラム缶のみを保管した場合の本数です。

注3) 赤数字は角型容器に収納された物を200リットルドラム缶に収納したと仮定した場合の本数です。(大半が角型容器に収納されます。)

注4) 黒数字は確定した個数です。

4. 整備工事スケジュール

整備工事スケジュール

実施項目	年度						
	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	
1 設備の解体・撤去	[黄]						
2 一時保管場所の整備及び保管	[黄]	[黄]			[黄]	[緑]	
3 施設E及びPの建屋内除染		[黄]					
4 土壌等建屋周辺物の撤去及び保管	[黄]			[黄]	[黄]	[黄]	[緑]
5 施設E及びPの解体・撤去				[黄]	[黄]		
6 新保管庫の建設			[黄]	[黄]			
7 新保管庫へ移動					[黄]	[緑]	

[黄] 変更前の計画(平成14年8月)

[緑] 変更計画(延長部分)

5 . 今後の安全管理

長年月の保管に対応した管理体制として、次の表のとおり対応して参ります。

	項 目	内 容
安全対策	放射線防護	コンクリートの厚い壁と床によって遮へいされます。
	地震対策	最新の耐震設計基準に基づいております。
	火災対策	自動火災報知設備、屋内消火栓及び連結散水設備を設置しております。
日常管理	管理マニュアル作成	管理マニュアルを作成し、それに基づき管理を行ないます。
	管理区域の設定	保管庫内は放射線管理区域とし、入室する際は個人被ばく管理を行ないます。
	周辺監視区域の設定	地上部との境界を周辺監視区域境界とし、みだりに立ち入らないように管理します。
	放射線測定	管理区域内における放射線量を定期的に測定します。また、地上部の周辺監視区域境界においても放射線量を定期的に測定します。
	放射能測定	地下からの湧水などの排水中の放射能濃度を定期的に測定します。
	換 気	給排気装置を運転し、保管庫内の空気の入れ換えを行ないます。
	点検作業	保管庫の状態及び放射性廃棄物の保管状態を定期的に点検します。
情報公開	相談室の常設	「近隣の皆様の相談室」は、引き続き設置し、各種お問合せにお答えしていくとともに、情報公開を行なって参ります。
	見学会開催	毎年、9月の「防災の日」の前後に、近隣の住民の皆様には保管状況を見て頂く見学会を行ないます。
	確認事項	「放射性物質及び放射性廃棄物」の外部からの持ち込みは行ないません。

お問い合わせ先：三菱マテリアル株式会社

総合研究所「近隣の皆様の相談室」

電話 0120-662-637 (フリーダイヤル)

Eメール：www-adm@mmc.co.jp

作成 平成15年10月22日